

5.28 田熊和真

全学連委員長
講演会

[30.工学部階段教室]

—全学連の斗ないし学生運動の2つの任務—

廿七回中執選挙4つの争点—

廿七回中執選挙は昨日より始まった。全学連統一派は、この選挙にあたって、四つの争点を明らかにした。オ一に、62大既済派軍事使用反対大阪2万人集金成功させ、困難な大阪における統一行動、統一戦線を発展させるが、6.15「共同斗争」を叫ぶことにより、同志知人アピールをわい曲し、民主勢力の団結を否定するのみ、オ二に、新憲法案、オ三学生ホールなど学友の切実な要求を実現する立場にたつのみ、統一会議派の譲歩のよう、進歩前へのみ学友の要求をとりあげるのみ、オ三に、「中大向塾」反対的サークル規約押しつけなど反対勢力の自治破壊を粉砕するのみ、統一会議派の諸君のよう、学友部長と管理権を渡すなど反対と斗わないのみ、オ四に、以上の三派の争点を明らかにした。いさうに全学連の方針、全日の学友との団結によって、その斗いを通じて進歩的世界観を身につけて民主的インテリゲンチヤとばる準備をする学生運動の二つの任務を達成するが名なである。

28日、全学連委員長
田熊君来る。

全学連委員長田熊君は、全学連八中委以後、学生運動の二つの任務を全学連で如何に実践しているかを述べてくる。又中大でそれを如何に実践すべきを示唆してくるであつた。

全学友諸君、田熊君委員長講演会に結集しよう。

全学連統一派

全学区

学部区